

「第二期けんこう帯広21」中間評価について

1 中間評価の目的

「第二期けんこう帯広21」中間評価は、計画の中間時点での進捗状況を確認し、平成34年度の最終目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題を整理し、計画後半の取組に反映させることを目的とする。

2 中間評価の方法

策定時に設定された評価指標について、策定時のベースライン値と直近のデータを比較し、最終目標値に対する数値の動向を分析し、4段階のレベルに区分した。また、策定時に設定された取組内容について、実施が進んでいるのか確認を行った。評価にあたっては、関係団体及び庁内各課メンバーで構成されたワーキング会議にて検討を行った。

3 評価結果

(1) 指標の評価

策定時に設定された7領域全38項目の評価指標について、「A 改善している」「B 変わらない」「C 悪化している」「― 評価困難」の4区分に評価した。区分の結果、下表のとおり全体の約5割の指標について改善の傾向がみられた。

<区分結果>

評価区分	項目数 (割合)
A 改善している	18項目 (47.4%)
B 変わらない	5項目 (13.2%)
C 悪化している	11項目 (28.9%)
― 評価困難	4項目 (10.5%)

(各領域と項目については表を参照。)

「A 改善している」のうち、「8. 自殺死亡率」「13. 3歳児のう歯のない率」「17. 12歳児の一人平均う歯数」「20. 健康づくりに関する活動に取り組む自発的に情報発信を行う企業登録数」の4項目については、すでに最終目標値に到達しており、今後目標値の再設定について検討する。

「C 悪化している」は11項目あり、領域別では、重点課題の糖尿病の領域に3項目、ライフステージの青年壮年中年期の領域に7項目、高齢期の領域に1項目であった。改善に向けて計画後半の取組について今後検討を行う。

「― 評価困難」は、「9. メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合」「15. 未成年者の飲酒率」「16. 未成年者の喫煙率」「32. 認知機能低下ハイリスク高齢者の発見率」の4項目であり、策定時に評価に用いる予定としていたデータが現時点で取得できなくなっているため、今後評価データソースの見直し、または、新たな指標設定を考える必要がある。

(2) 取組の評価

第二期けんこう帯広21では、重点課題3領域、ライフステージ4領域、計7領域について、それぞれ、「本人や家族の取組」「地域・関係機関などの取組」「市の取組」の3分野の取組が設定されている。

「本人、家族の取組」に関しては市民アンケートにて調査しており、「地域・関係機関の取組」32項目、「市の取組」48項目、全80項目について、各関係機関及び庁内各課で行っている取組をワーキングメンバーで確認を行った。

結果、下表のとおり全体の約8割の取組について実施が進んでいた。

<取組の実施状況>

区分	項目数 (割合)		地域・関係機関	市
実施している	66項目 (82.5%)	内 訳	22項目	44項目
実施していない	3項目 (3.8%)		0項目	3項目
どちらともいえない	11項目 (13.8%)		10項目	1項目

(各領域の項目については表を参照。)

「市の取組」については、約9割が実施されていた。

「地域・関係機関の取組」では、「どちらともいえない」が約3割あり、理由として職域での取組の場合それぞれの職場による違いがあるため判断が難しいこと等があった。

また、「実施していない」項目については改善にむけて今後検討を行う。

4 今後の予定

評価結果をもとに、特に進捗に課題がある指標や実施が進んでいない取組に関しては、健康生活支援審議会健康づくり支援部会、ワーキンググループ会議、関係団体との意見交換会を通して対策の検討及び見直しを行い、計画後半に強化する具体的内容を取り入れた改定版の作成について検討する。

(1)指標の評価

		ベースライン値	直近値	目標値	評価	ワーキング会議での主な意見	
重点指標	1.合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	5人	12人	0人	C		
	2.糖尿病有病者の増加の抑制	男性 15.2% 女性 8.7%	男性 15.0% 女性 8.1%	男性 17.0% 女性 9.7%	A		
	3.血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少	男性 1.6% 女性 0.5%	男性 1.2% 女性 0.5%	男性 1.4% 女性 0.4%	B		
	4.メタボリックシンドロームの該当者、予備群の減少	該当者 男性 25.8% 女性 7.2% 予備群 男性 18.2% 女性 6.4%	男性 26.4% 女性 7.8% 男性 19.3% 女性 5.4%	(29年度評価) 20年度対比25%減	C		
	5.特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	受診率 26.5% 指導率 20.9%	受診率 32.6% 指導率 10.6%	受診率 60.0% 指導率 60.0%	C		
がん	6.がんの標準化死亡率(SMR)の減少	男性 102.1 女性 107.6	男性 102.1 女性 105.2	男性 100 女性 100	B		
	7.がん検診の受診率の向上 (肺がん・大腸がん・乳がんは40~69歳 胃がんは35~69歳 子宮頸がんは20~69歳)	胃がん 11.8% 肺がん 12.4% 大腸がん 24.8% 子宮頸がん43.1% 乳がん 35.7%	胃がん 12.0% 肺がん 17.4% 大腸がん 27.5% 子宮頸がん44.3% 乳がん 37.5%	胃がん 16.8% 肺がん 17.4% 大腸がん 32.3% 子宮頸がん50.6% 乳がん 43.2%	A		
こころ	8.自殺者の減少 (人口10万人当たり)	32.1人	25.5人	25.6人	A		
	9.メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	13%	—	増加	—	北海道健康増進計画「すこやか北海道21」における調査結果を評価のデータソースとしているが、現時点で直近値が未公表のため評価困難	
妊娠出産 乳幼児期	10.全出生数中の低出生体重児の割合の減少	8.8%	8.6%	減少	B		
	11.妊娠中の飲酒をなくす	1.1%	0.6%	0%	A	飲酒は妊娠前からの習慣なので、中高生への教育が必要	
	12.妊娠中の喫煙をなくす	10.5%	6.3%	0%	A	喫煙は妊娠前からの習慣なので、中高生への教育が必要	
	13.3歳児のう歯のない率の増加	76.4%	86.6%	80.0%	A		
学齢期	14.肥満傾向にあるこどもの割合の減少	男子 6.93% 女子 6.06%	男子 7.64% 女子 2.82%	減少	A	※男女計でみるとベースライン6.5%→中間評価5.3%であるためA 分母:小学校5年生男女計、分子:肥満傾向にあるこどもの数男女計 男子は増加し、全国値(健康日本21中間評価)よりも高い値となっている。女子については減少しているという現状があり、評価するためには更なる検討が必要	
	15.未成年者の飲酒をなくす	男子3.4% 女子5.3%	—	0%	—	北海道健康増進計画「すこやか北海道21」における調査結果を評価のデータソースとしているが、現時点で直近値が未公表のため評価困難	
	16.未成年者の喫煙をなくす	男子0.8% 女子0.8%	—	0%	—	北海道健康増進計画「すこやか北海道21」における調査結果を評価のデータソースとしているが、現時点で直近値が未公表のため評価困難	
	17.12歳児の一人平均う歯数の減少	1.5本	0.8本	1.0本	A		
ライフス テージ 別指標	18.脳血管疾患・虚血性心疾患の標準化死亡率(SMR)の維持	脳血管疾患 男性 89.3 女性 76.9	男性 81.9 女性 75.3	現状維持	A	脳血管疾患・虚血性心疾患それぞれの状況を確認していくことが必要	
		虚血性心疾患 男性 87.5 女性 96.1	男性 113.1 女性 113.1	現状維持	C		
	19.脂質異常症の増加の抑制	男性 22.1% 女性 22.8%	男性 25.2% 女性 26.4%	現状維持	C		
	20.健康づくりに関する活動に取組、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加	0か所	51か所	50か所	A		
	21.適正体重を維持している人の増加	20~60代男性 肥満者	30.5%	31.3%	27.5%	C	健診データ等、より客観性の高い情報に基づく指標が望ましい
		40~60代女性 肥満者	18.1%	16.6%	15.0%	A	
		20代女性 やせ者	15.1%	22.2%	10.0%	C	
	22.野菜の摂取量の増加	162g	309g	350g	A		
	23.外食におけるヘルシーメニュー(栄養価)の表示の増加	82件	95件	増加	A		
	24.運動習慣者の割合の増加(20~64歳)	男性 29.9% 女性 28.1%	男性 23.1% 女性 26.5%	男性 40.0% 女性 40.0%	C	全年代や高齢期では増加しているが20~64歳では低下している	
	25.歩いて5分以内(300m以内)の距離で自家用車利用する人の減少	23.1%	26.4%	減少	C		
	26.睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	20.6%	20.6%	18.0%	B		
	27.生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少	(参考値)男性8.5% 女性1.5%	(参考値)男性15.0% 女性1.2%	男性13.0% 女性6.4%	C		
	28.成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい人がやめる)	22.1%	18.4%	14.0%	A		
	29.40歳代における進行した歯周炎を有する人の減少	66.1%	54.6%	減少	A		
30.35~44歳で喪失歯のない人の増加	36.2%	49.4%	増加	A			
31.過去1年間に歯科健康診査を受診した市民の増加	(参考値)50.4%	(参考値)57.6%	65.0%	A			
高齢期	32.認知機能低下ハイリスク高齢者の発見率向上	4.2%	—	10%	—	基本チェックリストによる把握事業終了のため評価困難	
	33.就労または何らかの地域活動をしている高齢者の割合	(参考値)男性44.2% 女性32.6%	(参考値)男性42.3% 女性37.8%	男性60% 女性60%	B	アンケートでは加味されていない「就労」のデータを収集して再検討が必要	
	34.歯の喪失防止	80歳で20本以上	35.7%	20.6%	50%	C	
		60歳で24本以上	38.4%	31.2%	60%		
35.60歳代における進行した歯周炎を有する人の減少	64.5%	58.4%	55%	A	減少しているためAとするが、減少の理由が分からなく、評価するためには更なる検討が必要		

(2) 取組の評価

取組の実施状況 (全80項目)	重点			ライフステージ				計
	糖尿病	がん	こころ	妊娠 出産・ 乳幼児期	学 齢 期	青 年・ 壮 年・ 中 年 期	高 齢 期	
実施している	5	4	12	9	11	15	10	66
実施していない	0	1	0	0	2	0	0	3
どちらともいえない	3	3	0	1	0	4	0	11

○:実施している
×:実施していない
-:どちらともいえない

重点:糖尿病

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、職場で、健康診査対象者への受診勧奨に努めるとともに、受診後に治療が必要な場合は、早期受診を勧めます。	-	職場によって差がある
私たちは、職場で、重症化予防のため治療が必要な人には、定期受診をしやすい環境を整えます。	-	職場によって差がある
私たちは、医療機関との連携を図ります。	-	取組みの具体化が必要であり、また、地域・職場によって差がある
(2) 市の取組		
市は、糖尿病の発症予防と重症化予防の講座を推進します。	○	糖尿病予防講座の開催、重症化予防のために保健指導を実施
市は、市民の健康状態を知るため、健康診査などわかりやすく周知し、受診勧奨に努めます。	○	受診券の工夫などを実施
市は、特定健康診査、人間ドックを推進します。	○	
市は、健康診査結果に応じた保健指導を充実します。	○	特定保健指導を実施するも健診項目によっては悪化(脂質異常症)している
市は、健康管理システムを活用して、市民一人ひとりの健康管理の支援を進めます。	○	健診の案内通知に過去3年の検査データと対象となるがん検診を記載

重点:がん

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、職場において、がん検診対象者への受診勧奨に努めるとともに、受診後に治療が必要な人には、早期受診を勧めます。	-	職場によって差がある
私たちは、職場において、がんが発見された人には、治療に専念できる環境を整えます。	-	職場によって差がある
私たちは、医療機関との連携を図ります。	-	取組みの具体化が必要であり、また、地域・職場によって差がある
(2) 市の取組		
市は、健康指導に関する教室の内容やがん検診についてわかりやすく周知し、普及啓発に努めます。	○	健康づくりガイド、集団検診案内
市は、がん検診を受診しやすい環境を整えます。	○	病院で土日検診を実施している
市は、女性特有のがん検診の受診を推進するとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発に努めます。	○	子宮がん・乳がんキャラバン
市は、子宮頸がん予防ワクチンの接種を推進します。	×	国の通知に従い積極的勧奨はしていないが、接種を受けられる体制整備を整えている
市は、健康管理システムを活用して、市民一人ひとりの健康管理の支援を進めます。	○	

重点:こころ

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、地域において、生きがいづくりに関するボランティアの育成やボランティアが活躍できる場を提供します。	○	サロンや自主サークルの増加
私たちは、地域において、参加できるようなサークル活動に取組みます。	○	サロンや自主サークルの増加
私たちは、地域において、様々なイベントや行事のなかで、人と人とのつながりを持つ機会を提供します。	○	町内会や地域のイベント等
私たちは、職場で、コミュニケーションを図り、メンタルヘルスを大切にします。	○	ストレスチェック制度が義務化
私たちは、個人のストレス状態を早期に把握し、適切な治療が受けられるよう職場における健康診査時にメンタルチェックを実施します。	○	ストレスチェック制度が義務化
私たちは、職場環境のメンタルヘルスに関する環境改善の経営者向け講習会を実施します。	○	ストレスチェック制度が義務化され経営者の意識が向上
(2) 市の取組		
市は、こころの健康づくりのための相談機関の周知と窓口の充実を図ります。	○	相談体制やこころの体温計など実施
市は、こころの健康づくりに関する知識や情報を発信・周知します。	○	メンタルヘルスの講座やこころの体温計の実施
市は、地域活動や生涯学習活動を通じて、生きがいづくりを支援します。	○	生涯学習講座や運動、文化系の講座の実施
市は、地域の支えあい活動を構築し、孤立する人がいないよう取組みます。	○	サロンや「まちなか」など交流の場の増加
市は、各種機関で行っている相談機関の連携と相談システムの整備を図ります。	○	多分野合同研修会の実施
市は、自殺対策を進めるためのゲートキーパー機能の充実を図り、地域連携体制を構築します。	○	ゲートキーパー講習会の実施や他分野合同研修会の実施

ライフステージ:妊娠出産期・乳幼児期

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、地域で保護者同士の交流を積極的にを行います。	○	
私たちは、地域で子育てを見守ります。	○	・児童委員 ・子ども110番の家
私たちは、職場で子育てを支援する環境をつくります。	—	・職場によって差がある ・事業所内保育所
私たちは、子育てサークルなどで、家族の生活習慣について考える機会を持ちます。	○	支援センターで、保健師による生活習慣について考える出前講座を利用できる
私たちは、幼稚園・保育所で、規則正しい生活習慣が身につくよう支援します。	○	

(2) 市の取組

市は、乳幼児健康診査や子育てに関する各種教室でバランスのよい食事を規則正しく摂る重要性について、周知啓発を推進します。	○	
市は、おやつ正しい摂り方について、周知啓発を推進します。	○	
市は、関係機関と連携をとり、子育ての相談に応じます。	○	
市は、医療機関や保健所と連携をとり、妊婦健康診査の受診勧奨と結果説明を推進します。	○	
市は、妊婦の飲酒、喫煙の影響について、周知啓発を推進します。	○	

ライフステージ:青年・壮年・中年期

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、地域において、食や運動に関する自主活動や地域交流などのイベント・各種講座を市民にわかりやすく周知します。	○	マルシェやフードパレマラソンなどイベントが増えている印象がある
私たちは、飲食店やスーパー、コンビニ等において、ヘルシーメニューや栄養情報等を提供します。	○	栄養表示が各方面で実施されている
私たちは、地域において、栄養・食生活改善の取組を実施します。	○	民間や市との連携などが増えている
私たちは、地域において、特定健康診査・特定保健指導を受けやすい体制を整えます。	—	地域、職場によって差がある
私たちは、地域において、健康づくりボランティアを育成し、活躍の場を提供します。	○	サロン等ボランティアの活躍の場は増加している印象がある
私たちは、地域において、健康づくりに関する情報ネットワークを構築します。	—	地域によって差がある
私たちは、かかりつけ医やかかりつけ歯科医、専門医の連携を進めます。	—	取組みの具体化が必要であり、また、地域・職場によって差がある

(2) 市の取組

市は、生活習慣病予防に関する情報提供や講座を開催します。	○	出前健康講座や健康づくり講座を実施している
市は、栄養・食生活に関する講習会、生活改善指導を充実します。	○	出前健康講座や健康づくり講座を実施している
市は、飲食店やスーパー、コンビニ等での情報提供やヘルシーメニュー表示店の紹介を行います。	○	スーパーなどと連携した取り組みが行われている
市は、運動・スポーツ情報や身近に親しむことのできる機会を提供します。	○	出前健康講座や健康づくり講座を実施している
市は、「オビロビ」など、だれもが手軽にできる運動を普及します。	○	出前健康講座や健康づくり講座を実施している
市は、運動に関わる自主活動の充実、地域ネットワークづくりを推進します。	○	出前健康講座や健康づくり講座を実施している
市は、歩数増加の啓発や日常的に体を動かすことの有効性の啓発を図ります。	○	出前健康講座や健康づくり講座を実施している
市は、喫煙・飲酒による健康への影響に関する健康教育の実施や周知啓発を図ります。	○	がん対策・健康づくりとして健康教育を実施
市は、特定健康診査・特定保健指導を推進します。	○	
市は、健康診査結果に基づく生活習慣改善、特定健康診査・特定保健指導と連動した健康づくりを推進します。	○	特定保健指導、糖尿病予防講座など健診結果に基づいた健康づくりを実施している
市は、かかりつけ歯科医による定期的な歯科健康診査の受診勧奨を推進します。	—	歯科健康診査は国保加入者のみ対象である
市は、健康づくりに関して、関係機関・団体・職場・行政などが一体となった取組を推進します。	○	健康まつり、にこにこ健康フェア、医療機関との連携

ライフステージ:学齢期

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、地域において、安心して子どもが遊べる環境を整えます。	○	地域のボランティアやNPO団体が中心となり、放課後や週休日に子どもが安心して過ごせる居場所づくり事業を実施
私たちは、地域において、食事の大切さについて、体験を通して啓発します。	○	給食指導を実施
私たちは、地域において、悩みのある子どもや親に対して、必要に応じて相談できる場所を紹介しています。	○	
私たちは、地域において、ネットワークづくりを推進します。	○	母子患者期連携会議、思春期保健ネットワーク、エリアファミリー

(2) 市の取組

市は、いのちの大切さを学ぶ機会をつくります。	○	学生、教職員とピアサポート研修
市は、生活習慣病予防やこころの健康に関する相談体制の充実を図ります。	○	スクールカウンセラー、学校の相談体制
市は、こどもの肥満や過度なダイエット、生活習慣病予防など、健康への影響に関する正しい情報の提供や対応の充実を図ります。	○	食育、保健体育、個別対応
市は、帯広らしい特色を活かした食育を推進します。	○	農作物について知っている
市は、運動・スポーツ情報や身近に親しむことのできる機会を提供します。	○	出前講座や健康づくり講座、各種スポーツイベントの実施
市は、個人に合った運動プログラムの提供と指導を実施します。	×	学校や保護者からの依頼がなく実施なし、周知不足も考えられる
市は、かかりつけ歯科医を持つことの促進を図ります。	×	学校で定期検診は実施しているが、児童・生徒に対してかかりつけ歯科医を持つことを促進する具体的事業は実施していない
市は、こころの健康に関する知識や専門機関等に関する情報提供の充実を図ります。	○	ステッカーの配布、講座
市は、こどもの飲酒、喫煙の影響について、周知啓発を推進します。	○	中学校で出前講座を実施している

ライフステージ:高齢期

(1) 地域・関係機関などの取組	実施状況	備考
私たちは、地域において、見守りや声かけなどの体制づくりに取組ます。	○	地域の事業所（電気・ガス・水道等）の協力を得た「きづきネットワーク」、地域包括支援センターの認知度をあげる取組、老人クラブ友愛訪問活動（60歳以上独居、高齢2人世帯に声掛け安否確認、2万人程度活動）
私たちは、地域において、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ります。	○	認知症サポーター養成講座（目標2000人）認知症ガイドブック（127〜）認知症茶話会、カフェ（市内12カ所）
私たちは、地域において、健康づくりのボランティア活動に取組ます。	○	交通安全の活動で事故を少なくする、ちょっとした支えあい、ボランティアポイント
私たちは、地域において、健康づくりや生きがいづくりに取組ます。	○	老人クラブ（65歳以上16%が加入、友愛訪問、花壇、地域奉仕、健康づくりの認定員）、活動の場「まちなか」（高齢者のボランティア登録130人程度）

(2) 市の取組

市は、認知機能が低下した人の早期発見に努めます。	○	認知症初期集中支援チーム（H28〜）、脳ドック（仕業には入っていないが病院によっては後期高齢者に対して認知機能チェックを実施）
市は、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを推進します。	○	
市は、介護予防を普及します。	○	きっかけづくり、継続していけるよう支援（参加したらよい、ではなく続けることが大切）、本人もボランティアに行くことで介護予防になる
市は、健康づくりのボランティアの養成と育成を推進します。	○	ちょっとした支えあいサポーター養成（H29〜）、健康づくり推進員（毎年養成）→まちなか等で活動
市は、歯周疾患の予防、早期発見のための定期的な歯科健康診査の受診勧奨を実施します。	○	介護予防事業（口腔機能向上、受診勧奨）、十勝歯科医師会のイベント（高齢者の歯のコンクール、虫歯予防デー、いい歯の日）、デイサービス先での口腔チェック、国保加入者歯科ドック（健診受診券送付時に案内同封）
市は、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局づくりの促進を図ります。	○	かかりつけ医（国の資料では85%、帯広市は87〜89%）、歯科ドックを受けなくても受診はしている